

科目責任者 馬場 正樹（臨床漢方研究室）

■ 教育目的

5年次における実習施設などでのコース実習で習得した知識、技能などを踏まえ、さらに伝統医療薬学に関わる幅広い内容を学ぶ。

それにより、さらに専門性を身につけた薬剤師を目指す基礎とする。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、⑤、⑥】

■ 学習到達目標

現代医療の中の伝統医療に関して、自分がより深く理解するための研究テーマを設定し、それを調査して情報の信ぴょう性を検討の上整理してまとめ、考察を加える技能を身につける。

■ 準備学習（予習・復習）

伝統医療に関する幅広くより深い知識を身につけるために、意欲をもって自発的に取り組む

予習：実習時の日報をもとに疑問点を事前にまとめておく

復習：配布プリント等を有効に使って復習する。質問は随時受け付ける。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	伝統医療コース演習	前年度の実習に関するまとめ 研究テーマの設定、発表およびレポート作成など	A (1) (2) (3) B (1)
2	伝統医療コース特論 1	繁用漢方処方に関する最新の話題 1	A (1) (2) (3) B (1)
3	伝統医療コース特論 2	繁用漢方処方に関する最新の話題 2	A (1) (2) (3) B (1)
4	伝統医療コース特論 3	繁用漢方処方に関する最新の話題 3	A (1) (2) (3) B (1)
5	伝統医療コース特論 4	アロマセラピーの実際	A (1) (2) (3) B (1)
6	コース合同特論 伝統医療	他のコースとの合同特論講義 臨床における漢方医療に関する留意点や副作用などについて（外部講師）	A (1) (2) (3) B (1)
7	コース合同特論 地域医療	他のコースとの合同特論講義 地域医療コースの特論講義を合同開催し、幅広い分野の見識を広める	A (1) (2) (3) B (1)
8	コース合同特論 海外医療	他のコースとの合同特論講義 海外医療コースの特論講義を合同開催し、幅広い分野の見識を広める	A (1) (2) (3) B (1)

■ 授業分担者

馬場 正樹（責任者）、浦辺 宏明、紺谷 園二、杉山 重夫、矢久保 修嗣、片山 昌勅、荒木 信、小池 伸、月村 考宏、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義への出席および参加態度（50%）、課題レポート評価（50%）による総合評価。

レポートについては次の回で一部を例に解説し、質問は随時受け付ける。

■ 教科書

薬日本堂漢方スクール「漢方基礎講座1・2」

その他、必要に応じてプリントを配布する

■ 参考書

じほう「新一般用漢方処方の手引き」